

電気設計から製造までデータがつながる

Efficient Engineering is when a PLAN becomes EPLAN.

制御盤製造の最適化ソリューション

https://www.rittal.com/jp-ja/ e-mail: contact@rittal.co.jp

リタール株式会社

Empowering the All Electric Society

PHOENIX CONTACT フェニックス・コンタクト株式会社

www.phoenixcontact.co.jp

Fukunishi 福西電機株式会社

本社 大阪市北区与力町7番5号

コーポレートサイト https://www.fukunishi.com

Empower Connections WAGO

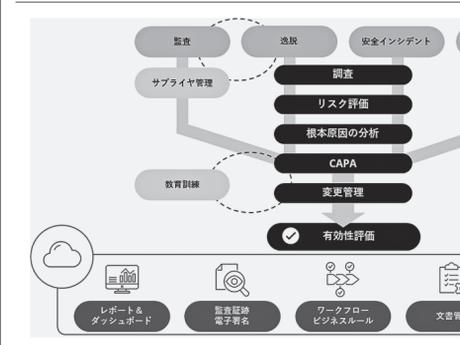
つながりに力を

現場川柳番外編「オートメーション、現場川柳」

「見ないふり出した不良が里帰り」

作:橋さん 画:見ル野栄司氏

OPTEX FA CO., LTD.



キーエンス「ライトカーテン」

発光種別で状態把握

キーエンスは、小型堅牢のライトカーテン「GLVシリーズ」を発売した。

3Dプリンターを1人1台の時代に

A-switch Membership Model

A.switch 株式会社

IDEA AGV・AMRに最適

セーフティレーザースキャナ

IDEAは、人やモノの接近を検知できる、セーフティレーザースキャナ「SE2L形」について、耐環境性能をはじめ各種機能を強化した「SE2L Advance」を発売した。II号写真。

横河電機 医薬・食品製造のDX加速

品質保証 クラウドサービス

横河電機は、Oprex Management Systemを発売した。II号写真。

新製品・サービス シュナイダーエレクトリック「ソフトスター」

ラインアップ拡充

シンプル用と最上位投入

ソフトスターは、モーターの起動時に発生する電流の急激な上昇を抑えることで、機械や電機設備の寿命を延ばし、エネルギー効率を向上させる重要な機器です。

パトライト「積層信号灯」

M12コネクタ仕様登場

パトライトは、直径60mm以下の積層信号灯「LR6シリーズ」について、M12コネクタ仕様を追加した。II号写真。

電気接触は、WashiONにおまかせください。

商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。お客様の「希望納期」にて対応します!!

<p>電源切替用開閉器 SSKシリーズ</p> <p>標準型・OFF位置付・オーバーラップ型・高速動作型・手動操作型</p> <p>●高速動作 HTS TYPE</p> <p>●瞬時動磁機保持型 E TYPE</p> <p>●手動操作型 MO TYPE</p>	<p>高圧真空電源切替器</p> <p>●VSKシリーズ</p>		
<p>直流電磁接触器</p> <p>●KMDシリーズ</p>	<p>直流手動開閉器</p> <p>●BMSシリーズ</p>	<p>重負荷用電磁接触器</p> <p>●WCDシリーズ</p>	<p>高圧端子台</p> <p>●SNTシリーズ</p>

WashiON株式会社

2024年10月から社名を変更しました

http://www.washion.co.jp

最大32台のRFIDリード/ライトヘッドをデジチェーン可能

TurckのRFIDインターフェースに搭載されているHF Busモードによってリード/ライトヘッドのカスケード接続が可能となり、RFIDインターフェースの1チャンネルにつき最大で32台のリード/ライトヘッドを使用できます。

高価なRFIDインターフェースの使用台数を減らしてコスト削減を実現します。

イプロス Turck RFID 検索

TURCK

ターク・ジャパン株式会社

〒110-0016 東京都台東区東1-24-2 ISM秋葉原1F

TEL:03-5817-4253 FAX:03-6685-8747



見込顧客の創出
BtoB企業専門のマーケティング支援
株式会社メイテンス

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社カナデン

2025年4月1日、株式会社高木商会は「株式会社タカギコネク」に社名を変更します。
TAKAGI CONNECT
URL: www.takagishokai.co.jp
e-mail: web-sales@takagishokai.co.jp
IoT Connecting Solutions
高木商会

この技術が、世界を変える。
この技術で、未来を変える。
change the world, for the future.
HOKUYO
https://www.hokuyo-aut.co.jp/

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■三菱電機、コンデンサ関連機器を販売終了 代替品は指月電機製作所製を推奨

三菱電機は、受配電関連市場で提供してきたコンデンサ関連機器について、配電用変圧器事業の譲渡に伴い、コンデンサ関連機器も販売を終了する。対象機種は進相コンデンサ、直列リアクトル、進相コンデンサ設備、特定用途コンデンサ、放電コイル、交流フィルタ設備 全機種。最終受注期限は2025年7月31日、最終出荷期限は2026年1月30日。代替品は指月電機製作所製品を推奨している。

■三菱電機、インドのソフトウェア企業「Gervigreind Data Science Pvt Ltd.」に出資

三菱電機は、100%子会社の三菱電機インドを通じて、ノーコードでデータ分析・レポート作成などを可能とするアプリケーションを開発・販売するインド発のソフトウェアスタートアップ企業Gervigreind Data Science Pvt Ltd. (ジェルヴィグレインドデータサイエンス、GDSPL社) と共同開発および営業連携に関する協業契約を締結し出資する。GDSPL社の保有するアプリケーションと同社のFA機器やFAソリューションソフトウェアを組み合わせ、FAデジタルソリューション事業を強化する。

■オムロンソーシアルソリューションズ、住宅向けマルチV2Xシステム「KPEP-A-2シリーズ」発売

オムロンソーシアルソリューションズは、主に住宅に向け、単機能V2Xシステムに太陽光発電と電気自動車(EV・PHEV)のハイブリッドシステムを統合したマルチV2Xシステム「KPEP-A-2シリーズ」を4月から発売する。

■安川電機、1トン可搬スカラロボット「MOTOMAN-ME1000」が省エネ大賞の経済産業大臣賞を受賞

安川電機が2024年11月に製品化したバッテリー搬送用1トン可搬スカラロボット「MOTOMAN-ME1000」が、省エネルギーセンター主催「2024年度省エネ大賞」で最上位の「経済産業大臣賞」(製品・ビジネスモデル部門)を受賞した。

同製品は、電動自動車(EV)の床面に取り付けられることが多い大容量バッテリー組み付けに対応した業界初となる1トン可搬質量を持ち、低床部へアクセス可能(地上同一面まで降下可能)なスカラロボット。これまで重量物搬送では垂直多関節型ロボットが多く使われており、ロボットサイズや非常に大きなエネルギー消費量が課題だったが、同製品はモータ総容量を小容量化することで消費電力を削減し、生産設備のト

未来のための。イーサネットの。METZ CONNECT
We realize ideas
国内販売輸入総代理店 Rinsconnect 株式会社リンスコネク

ータルコスト削減とコンパクト化を可能とした。ロボット質量当たりの可搬能力を従来製品の1.6倍にする。同時に、モータでの消費電力を約45%削減した点などが評価された。

■東芝、Toishiba Clipでパワー半導体で社会課題に立ち向かう若手技術者のインタビューを掲載

東芝は、同社のトレンドを紹介するWEB「Toishiba Clip」で、パワー半導体で社会課題に取り組む若手技術者のインタビュー「パワー半導体で社会課題に立ち向かう! 異なる個性を持つ、若き2人の技術者が描く未来〜理念ストーリー We are Toshiba〜」を公開した。



■フェニックス・コンタクト、低圧用サージ保護デバイス(電源用SPD)で公共建築協会の評価書を取得

フェニックス・コンタクトは、低圧用サージ保護機器(電源用SPD)の全5シリーズについて、公共建築協会の建築材料・設備等品質性能評価を受け評価書を取得した。

評価書は、公共建築の営繕工事において使用される材料等が、国土交通省の公共建築工事標準仕様書に適合することを証明し、その工事受注者と発注者間の多大な労力を軽減する目的で発行されるもの。

対象製品は、低圧用(電源用)SPDクラスIのFLT-MBシリーズ、FLT-SECシリーズ、低圧用(電源用)SPDクラスIIのVAL-SPPシリーズ、VAL-SECシリーズ、SP-EE-VAL-MBシリーズの5シリーズ。

■北陽電機、PoR給電タイプ測域センサ「UST-10LXB-H02」紹介動画を公開

北陽電機は、PoE給電が可能な測域センサの新製品「UST-10LXB-H02」の解説動画をYoutubeで公開した。PoE給電によって省配線・設置の効率化が可能になっている。

■不二電機工業、表示灯・表示器の生産拠点をみなみ草津工場へ変更

不二電機工業は、生産拠点の再編に伴って、これまで草津製作所で生産していた表示灯・表示器の生産をみなみ草津工場に変更する。2025年10月生産分から組み立て、検査工程を移管し、組み立て、検査、出荷が連携する一貫した生産体制を確立する。

対象機種は、丸形LED表示灯や集合表示灯、マクリット表示器など表示灯・表示器全般と電子応用機器のアナシエーターリレー。

■ECADソリューションズ、ECADライブラリ公開 キーエンスのセンサなど追加

ECADソリューションズは、ECADライブラリを公開し、キーエンスのセンサFRシリーズ、三菱電機の無線ユニットSWL90シリーズ、安川電機のマシニコ

ントローラMPX1000シリーズ、MP3000シリーズ、SLIO I-Oシリーズ、YRM1000シリーズを公開した。今回の更新によって部品点数は265万7782点となった。

■アイエイアイ、情報誌「コーヒータイム」2・3月号を公開

アイエイアイは、2カ月ごとに新商品情報やイベント情報、新技術などの情報をまとめている情報誌「コーヒータイム」について、2・3月号を公開した。同号では、「飲料パックのセンタリング機構」の事例紹介などを掲載している。

■CKD、「漫画でわかるCKD! Vol.4 LTEリモートコントローラ」を公開

CKDは、同社の製品を漫画で紹介する「漫画でわかるCKD!」について、「Vol.4 LTEリモートコントローラ」を公開した。

■住友重機械工業、半導体業界向けレーザーアニール装置メーカーのLASSE社を子会社化

住友重機械工業は、SCREENセミコンダクターソリューションズのフランス子会社で半導体製造装置事業を営むLaser Systems&Solutions of Europe SASU (以下「LASSE社」)の全株式を取得し、子会社化した。

LASSE社はパワー半導体向けレーザーアニールで欧州市場での実績があり、電気自動車(EV)や再生可能エネルギーソリューションの需要増加に伴って重要な役割を果たしている。子会社化によってLASSE社が持つ顧客基盤やネットワーク、研究開発能力等のリソースを相互に補完し、競争優位性を確保し、半導体事業の拡大を目指す。

■NSK、「NSK Stories」に新企業広告「___with Motion&Control」の制作の裏側紹介記事を公開

NSKは、NSKグループの新しい動きを紹介するWebマガジン「NSK Stories」に、新企業広告「___with Motion&Control」の制作の裏側に迫る記事「アイデアをカタチにするためのプロセス NSKがつくる『あたらしい振り子』」を公開した。

同社製品でビジョン「あたらしい動きをつくる。」を表現する企業広告「___with Motion&Control」について、2024年は「Swinging with Motion&Control」と題して、ペアリングを使った「振り子」のような動きをつくった。その裏側に参画した8人のエンジニアたちがそれぞれの視点で語っている。

■モノタロウ、平日17時までの注文で最短当日出荷の対象地域を北関東と甲信越地域に拡大

モノタロウは、平日17時までに注文すると最短当日出荷する対象地域を北関東と甲信越地域に拡大した。これにより南関東の東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、関西の大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県に続き、北関東の茨城県、群馬県、栃木県、甲信越の新潟県、長野県、山梨県のユーザーは、

業務時間中に注文した商品を、最短で翌日の午前中に受け取ることが可能になる。

また、2025年には同サービスを一部地域を除く全国に拡大する予定です。

■スズデン、情報誌「Bell67号」発刊 全104ページ

スズデンは、「快適工場づくりのキーワード『品質』『環境』『安全』を実現する多彩なテクニカル・レポート」をテーマに発行している情報誌「Bell」の最新号67号を発刊した。全107ページで紹介しており、今回は、TECS/TEPSシリーズ〜小型・高効率化実現方法〜(コーセル)、富士電機のプログラマブル表示器用作画ソフト「MONITOUCH Smart Editor」、簡単に設備の稼働監視ができるWD PROシリーズ(パトライト)、三菱製小型シーケンサFX5Sシリーズなどを紹介している。

イベントセミナー

■立花エレクトック、27日Webセミナー「ネットワークにおけるデータ処理に高速通信用コネクタでつながります」

立花エレクトックは、2月27日10時〜Webセミナー「ネットワークにおけるデータ処理に高速通信用コネクタでつながります」を開催する。

高速インターネットのバックボーンには大容量の基幹回線があり、超高速でデータ処理がされており、データ処理をする各装置(ネットワーク機器、データセンター、サーバ等)間、機器内の接続ではコネクタを通してデータの送受信がされている。セミナーでは高速通信(伝送)に適したTE社のコネクタ類を紹介する。

■EPLAN、Webセミナーアーカイブ公開中「Eplanの特長と差別化ポイントー電気設計効率化のヒントー」

EPLANは、Webセミナー「Eplanの特長と差別化ポイントー電気設計効率化のヒントー」をアーカイブ公開中。Eplanの電気CADの特長、導入事例、導入概算費用について解説している。

■リタール、20日オンラインセミナー「ハノーバーメッセから見るグローバル製造業の革新：技術の進化と今後の動向」

リタールは、2月20日に、昨年10月に開催し好評だったオンラインセミナー「過去3年分のテーマを振り返る ハノーバーメッセから見るグローバル製造業の革新：技術の進化と今後の動向」を再配信する。

セミナーでは、ここ数年のハノーバーメッセで発表された最新技術やイノベーションを用いた、製造業のショーケースの変遷と今後予想される動きなどについて、アルファコンパス代表CEO福本勲氏が解説する。過去のハノーバーメッセのテーマや、注目すべき技術・ショーケースなどを振り返り、ドイツ・日本をはじめとした製造業におけるデジタル化や脱炭素化の対応の方向性を確認する。

簡単・高速・広帯域 LTE&5G対応 メッシュWi-Fi 産業用ルーター

- ・ ローカル5G
- ・ 産業自動化
- ・ IIoT



by BlackBear TechHive

BlackBear TechHive Japan株式会社
〒東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F
☎ 03-4530-3390 ◎ www.atoponline.com/ja



by BlackBear TechHive

BlackBear TechHive Japan株式会社

東京都千代田区丸の内1-1-3
日本生命丸の内ガーデンタワー3F
03-4530-3390

産業用データダイオード- BIG9000



Your Security is Our Duty

OTサイバーセキュリティのための
堅牢なハードウェアソリューション



www.blackbear-ics.com/ja

CONTEC
製品ラインアップ1,300点
工場の“今欲しい”が見つかる
e-shop

不可能を、可能にーそれが、SICKのセンサインテリジェンス。
SICK
Sensor Intelligence.
本社：東京都中央区本町1-32-2 八潮ビル13F TEL: 03-5309-2115
URL: <https://www.sick.com/jp> e-mail: support@sick.jp

安全コントローラの信頼のブランド「PNOZ」のビルド
PILZ
THE SPIRIT OF SAFETY
ビルドジャパン株式会社
<https://www.pilz.com/>

生産設備の予知保全をIoTで効率化
<https://jp.sukkha.net/>
info@sukkha.net
SUUKKHA

@MonodzukuriJP
FA業界の最新ニュースを配信中
オートメーション新聞公式Xアカウント

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

■ホンダ、中国広東省広州市で広汽本田汽車の新エネルギー車の生産工場が稼働



ホンダの中国の四輪生産販売合弁会社である広汽本田汽車（広汽Honda）は、広東省広州市に新設した「開発区新エネルギー車工場」の稼働を開始した。

広汽Hondaの開発区新エネルギー車工場は、高効率、スマート、低炭素な生産体制に向け最新の生産設備を導入している。プレス、溶接工程では部品搬送の自動化により物流要員のゼロ化を実現、AIによる溶接強度検査をグループとして初めて採用した。また組立工程では、工程全体の約30%を自動化し、高効率な生産ラインを実現している。

環境面では、工場敷地内に22万㎡の太陽光発電システムを設置。再生可能エネルギーを活用することで、年間のCO₂排出量を1.3万トンを削減する見込み。また、新開発の低VOC塗料の採用や工場排水に含まれる有害物質を100%処理できる設備を導入し、環境負荷の低減に取り組んでいる。

中国では、EV「e:N（イーエヌ）」シリーズに加え、2024年度に新たに発売を予定している次世代EV「烨（yè：イエ）」シリーズも合わせて、2027年までに10種類のHondaブランドEVの投入を予定している。2035年までに中国でのEVの販売比率100%の達成を目指している。



開発区新エネルギー車工場の年間生産台数は約12万台。生産機種はe:NP2、烨シリーズを予定している。投資金額は約700億円。

■プリントネット、鹿児島県始良市に「九州第二工場」新設

プリントネットは、鹿児島県始良市に九州第二工場（仮称）を新設する。

従来印刷会社は、人材不足や設備・資材高騰によるファブレス経営が増加しており、自社生産能力を有する印刷会社への需要が高まっている。カスタマーサービスの優位性と価格の観点から、同社への利用増加も見込まれることから、それに対応すべく新工場を建設する。

同工場には新台を増設して4台体制で生産を行う予定。また、太陽光パネルの設置を始め環境に配慮した設備を整える。生産設備の集約と自動化を推進し、生産の効率化と品質の安定化、生産コストや外注費の削減を実現する。

土地面積は3万2380平方メートル。建物延床面積は約2000坪。投資額は約35億円。2026年10月稼働開始予定。

■NTKセラテック、宮城県富谷市に静電チャックや構造用セラミックス製品製造の新工場建設

NTKセラテック、宮城県富谷市に静電チャックや構造用セラミックス製品を製造する新工場建設する。2026年度内の稼働開始を予定している。

■健栄製薬、三重県松阪市の松阪中核工業団地に医薬品製造の新工場

健栄製薬は、三重県松阪市の松阪中核工業団地内に第7工場を新設し、合わせて第5工場の生産能力を増強する。

医薬品の安定供給は医療業界における最重要課題であり、自社製造による供給体制を大幅に強化することにより市場の安定化に貢献する。

新築する第7工場の建設面積は5200平方メートル。第5工場の改築面積は1720平方メートル。

■ベプチドリーム、千葉県君津市のかずさアカデミアパークに放射性診断薬・治療薬製造の新工場

ベプチドリームは、次世代放射性核種（Lu-177、Ac-225、Cu-64など）を用いた放射性医薬品の新たな製造拠点として、千葉県君津市のかずさアカデミアパークに工場を新設する。

同社グループは、独自の創薬開発プラットフォームであるPDPs技術を活用し、放射性医薬品（RI）領域において放射性医薬品の研究開発・製造・販売を行っている。

稼働中のPDRファーマ千葉工場（千葉県山武市）は現在販売している放射性診断薬・治療薬の製造を行っているが、今後、次世代放射性核種を用いた新たな放射性治療薬、診断薬と組み合わせたセラノスティクスの上り市場を想定しており、国際的な医薬品製造基準に対応した製造キャパシティの拡充に向け新工場を建設する。

新工場は2028年の稼働開始を目指し、2028年までの投資規模は100億円程度になる。用地面積は5万7000平方メートル。設計開始は2025年1月。2026年6月着工予定。2028年10月操業予定。

海外

■島津製作所、中国・蘇州に分析計測機器の新工場

島津製作所の中国子会社の島津機器（蘇州）は、江蘇省蘇州市に第四期工場を建設した。

新工場は液体クロマトグラフ質量分析計やガスクロマトグラフ質量分析計など分析計測機器の生産拠点となる。新工場の稼働により建屋面積は従来比2.2倍、製造能力は同2.4倍となる。

島津機器蘇州は、中国で販売する分析計測機器を生産する工場として設立。これまで、中級機種のLC-MSや液体クロマトグラフ、紫外可視分光光度計などを製造してきたが、新工場の建設に合わせて、2023年9月からは中国国産優遇策の対応としてLC-MS、GC-MS、ガスクロマトグラフ、エネルギー分散型蛍光X線分析装置などの上位機種の製造を本格的に開始している。

新工場では、部品の入出庫や製品の調整検査を自動化する設備や温度・湿度など生産環境の安定化機構を取り入れ、太陽光発電設備も設置しCO₂排出量の削減にも取り組む。

■キュービー、タイとインドネシアの既存工場に生産ラインを新設

キュービーのグループであるキュービータイランドとキュービーインドネシアは、各既存工場内に生産ラインを新設し、稼働を開始した。

キュービータイランドではオセアニア地域を中心とした輸出事業が好調で、2023年度のマヨネーズ類の輸出実績は2019年度比で3倍以上に急成長している。急拡大する輸出需要に加え、今後も伸びが見込まれるタイ国内の需要にも対応するため、今回東南アジアで初となる高速充填ラインを導入し、従来の約2倍の生産スピードを実現。マヨネーズ類の年間生産能力3万6000トンのうち新規は1万8000トンを生産する。また新規の屋上にも太陽光パネルを設置し、工場全体の再生可能エネルギーの割合を約25%から約35%に引き上げている。

キュービーインドネシアは、2024年には現地でなじみのある新商品を発売し、現地の食文化に合わせた商品開発やメニュー提案で業績は伸びている。

また小型スーパーでマヨネーズやドレッシング導入が広がり、商品認知率も高まってきている。生産能力は年間1万9500トン。このうち新設ラインでは1万2000トンを製造する。

Just in your products
Just Products
挑戦する盤メーカーをサポートする会社
コスト、生産性、脱炭素。それだけにどまらない、銅バー加工の外注化のメリットをお伝えします。
株式会社ジャストプロダクツ

国内

■三菱鉛筆、山形県西置賜郡飯豊町に鉛筆製造の新工場

三菱鉛筆は、鉛筆製造を行っている山形工場（山形県東置賜郡川西町）の建物老朽化への対応に加え、さらなる生産機能の合理化および生産体制の強化を図るために、新たに山形県西置賜郡飯豊町に工場を新設。現工場の鉛筆製造の機能の一部を新工場に移管し、2025年1月より稼働を開始した。敷地面積は、2万平方メートル。延床面積は、8064平方メートル。

■伊藤園、兵庫県神戸市に麦焙煎工場と関西流通の中継機能を持つ「神戸第二工場」を新設

伊藤園は、兵庫県神戸市に麦焙煎工場と関西流通の中継拠点機能を持つ「神戸第二工場」を新設した。

伊藤園グループの伊藤園産業は、静岡県牧之原市で「お〜いお茶」をはじめとするティーバッグ製品の製造と麦茶製品の原料焙煎を事業としている。麦茶製品の需要の増加に伴って、兵庫県神戸市に新たに麦茶リーフ製品向けの麦焙煎工場を「伊藤園 神戸第二工場」内に新設し、供給体制を強化する。同工場で焙煎した麦茶原料は、隣接する伊藤園関西茶業で製品化する。また持続可能な物流体制の維持や構築に向けて、伊藤園の静岡相良工場（静岡県牧之原市）で生産した

製品の関西流通の中継地、隣接する伊藤園関西茶業の入出庫倉庫としても機能し、関西エリアの物流体制を強化する。敷地面積は1万6336平方メートル。建築面積は7569平方メートル。延床面積は7721平方メートル。

■JFEスチール、広島県福山市の西日本製鉄所で自動車用超ハイテン鋼板用の溶融亜鉛めっきライン建設

JFEスチールは、自動車用超ハイテン鋼板の需要拡大の対応に向け、広島県福山市の西日本製鉄所（福山地区）に溶融亜鉛めっきライン（CGL）を新設する。

自動車業界では、世界的に年々厳しくなる環境規制、衝突安全基準に対応するため車体の軽量化と高強度化が進んでおり、加工性の良い自動車用超ハイテン鋼板は今後も需要拡大が見込まれている。今回の設備投資により、JEFORMAシリーズを含めた自動車用超ハイテン鋼板の生産能力を増強し、拡大する需要に対応し、将来の高強度化・高機能化ニーズへも対応していく。2028年10月稼働予定。生産能力は年間36万トン。投資額は700億円。

■田中精密工業、モビリティ事業部の新車整備に関わる新工場を富山県富山市に建設

田中精密工業は、モビリティ事業部（ホンダ自販タナカ）の納車前整備機能である「Honda Gloss 富山富山センター」の能力拡大に向け、新車整備に関わる新工場を建設する。

ホンダ自販タナカは、2022年から富山県西部地区の3店舗、入善地区の1店舗を販売ネットワークに加え、今後のさらなる販売拡大ならびに競争力強化を目指し、既存店舗併設工場を独立させ新工場を建設し、整備能力を現在から倍増させる。

新工場では、商品化キャパシティの増強に加え、車両移動や作業性など業務効率の大幅な効率アップを実現し、既存店舗では顧客サービスに特化したサービスの向上につなげる。

2025年10月に工事を開始し、2025年12月稼働開始予定。投資金額は2億円（予定）。

Fukunishi
人・技術・情報の架け橋となり、最適解で「福」あふれる未来をつくる。
福西電機株式会社

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wi-Fi)
ECU-150(LTE/Wi-Fi)
ECU-1252(LTE/Wi-Fi/CAN)
エッジゲートウェイ



ARM A8 ARM A53x4 ARM A8

WISE-4220(Wi-Fi 2.4G)
WISE-4210(SUB-G)
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-2210(SUB-G)
WISE-2211(SUB-G)
WISE-2200-M(LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN)
WISE-2410X(LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社
<https://www.advantech.com/ja-jp/>



【東京本社】 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3
TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

【大阪支店】 TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886 【名古屋支店】 TEL : 052-291-4860 FAX : 052-291-4861